

2021年7月5日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

検査項目名	TARC(CCL17)
コード No.	(新システム) 13651 / (従来システム) 6081
検体量	血清 0.4mL
採取容器	B (汎用容器)
保存方法	冷蔵
検査方法	CLEIA
基準範囲	(COVID-19の重症化リスク判定のカットオフ値) 95.0 超 pg/mL
所要日数	1日
検査実施料/判断料	184点 / 免疫学的検査 144点 COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、一連の治療につき1回を限度として算定できる。
備考	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)陽性患者検体につきましては、医療機関にて3重梱包し、ご提出ください。

【検査解説】

TARC(thymus and activation-regulated chemokine)は、表皮角化細胞などで産生されるケモカインの一種で CCL17 とも呼ばれ、皮膚の病変部位などに Th2 細胞を遊走させる働きがあります。

重症化する新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)陽性患者は、発症早期から重症化するまでの間は血清中の TARC 値が低値を示すことが確認されており、患者の重症化を早期より予測可能な分子マーカーとしてTARCの有用性が示されています。また、種々の慢性疾患でTARC値を検討したところ、TARC値が低値を示す疾患は認められなかったことから、基礎疾患を有する患者でもCOVID-19の病勢予測が可能なことが示唆されています。

この度、本検査が新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)陽性患者の重症化予測の補助を使用目的として保険適用されましたので、項目コード No.を新設して受託を開始いたします。

《参考文献》 Sugiyama M.et al.:Gene 766, 145145, 2021. (<https://doi.org/10.1016/j.gene.2020.145145>)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き(第5版) (<https://www.mhlw.go.jp/content/000785119.pdf>)

【開始時期】2021年7月12日(月) ご依頼分より

以上

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。